



自治体SDGsモデル事業



市民のリスキリングによる
サステナブルスキル育成を促す
オープンバッジ制度

野々市市の特徴・魅力

若い世代が集うコンパクトなまち

- ・石川県のほぼ中央に位置し、
面積が13.56km²のコンパクトなまち
- ・人口は増加傾向にある
- ・大学のキャンパスが複数所在しており、
市内人口の4分の1以上が22歳以下



住みよさトップクラスのまちの魅力

- ・住みよさランキングが上位
2020年・2021年⇒2年連続全国1位
2022年⇒全国3位
- ・スーパーや雑貨店など、
日常生活に便利な店舗が充実
- ・コミュニティバスで市内全域を巡ることが可能
近隣地域へのアクセスも良好



脱炭素社会

循環型社会

ウェルビーイング社会

自然との共存共創社会

かがやき無限大 みんなでつくる インパクトシティのいち

コンパクトな市域につまった市の魅力を、市民みんなで磨いていくことで、
多くの人に大きなインパクトを与えることができる、**かがやきあふれる野々市市** をめざします。

1
経済

生涯にわたって学ぶことができ、
みんなが好きなことで活躍できるまち

2
社会

あらゆる世代が交流し、
誰もがまちづくりの担い手であるまち

3
環境

みんなが環境について学び、考え、行動する
サステナブルでウォークアブルなまち

自治体SDGsモデル事業の概要

市民のリスキリングによるサステナブルスキル育成を促す オープンバッジ制度

市民一人ひとりのサステナブルスキルや経験をデジタル証明として可視化する
「オープンバッジ制度」の導入

	バッジ	概要
①	企画者	研修・ワークショップの企画を行う市民
②	指導者	研究・ワークショップ内で講師・ファシリテーターの役割を担う市民
③	実践者	ワークショップ等で得たスキルを活用して、生活の中で実践している市民
④	参加者	ワークショップ等に参加した市民
⑤	応援者	企画や取り組みを応援する市民

市内での取り組みを推進しながら、
市民一人ひとりの持続可能な社会に対する意識を向上させる

若者を中心とした市民が一体となってまちづくりを行う社会の実現

モデル事業① 経済

課題

- ・新たな産業の創出
- ・地域内外の企業と連携した事業創出

1 SDGsの取り組み・事業を生み出す企業・組織・団体向けのワークショップの実施

- ・SDGsの達成に必要な考え方や経営理論等について学ぶ企業・組織・団体向けのワークショップの実施
- ・実際に起業や事業立案を行うために必要となる知識やスキルを身につけるセミナーの実施

2 白山手取川流域SDGs認定制度を活用した企業間マッチングの促進

- ・石川県白山市と連携し、「白山手取川流域SDGs認定制度 ※」に登録している企業・個人がつながる機会としてイベントを開催することで、参加者同士のマッチングを促進し、企業間等での連携した取り組みを活性化する

※白山手取川流域SDGs認定制度：SDGsについて理解し、SDGs推進に向けて実践し、取り組みの成果をアピールする企業・個人を認定する制度。

市内起業者数
の増加

SDGsの達成に貢献する
製品・サービス数
の増加

市内従事者数
の増加

モデル事業② 社会

課題

- ・若者の定住促進に向けた地域への愛着心の向上
- ・小中高等学校と大学間での連携の強化

1 地域の拠点を活用したリスキリングワークショップの実施

- ・公民館や図書館等の施設を活用した、市民が自分の好きなことや得意なこと等を起点としたマイプロジェクトを実現するために必要となるスキルや知識について学ぶ、リスキリングワークショップの実施

2 既存施設のアブラボ・映像スタジオ・コードフォー拠点化を通じた「マイプロジェクト活動」拠点の構築

- ・公共施設に木材加工用のCNCルーター、XXXXXXXXXX映像配信機器及びプログラミングワークショップ用のPCを導入することで、アブラボ・映像スタジオ・コードフォー拠点化を行う

↓

教員と連携して
授業を行うことが
できる市民
の増加

↓

デジタルツールへの
関心が高い市民
の増加

↓

デジタル生活指数
の向上

モデル事業③ 環境

課題

- ・他自治体との連携による脱炭素・循環型社会の実現
- ・市民の環境意識の醸成

1 市民・企業向け環境ワークショップの実施


- ・市民・企業向けの環境意識向上のためのワークショップの実施

2 実践者による活動の効果測定のためのモニタリングの実施


- ・ワークショップで学んだことがどの程度生活の中で実践されているかを計測し、その結果を市民に対して広く発信するモニタリングシステムの導入

3 再生可能エネルギー導入施設・企業の見学会の実施


- ・先進的に再生可能エネルギーを導入している施設や企業等を見学する機会の提供



市民の環境意識
の向上



歩きやすいまちづくりに
関わりたいと思う市民
の増加



再生可能エネルギーの
導入による
CO2排出量の削減

三側面をつなぐ統合的取組

サステナブルでウェルビーイングな野々市市の実現を支える 市民協働による野々市中央公園周辺地域のCoデザインプログラム

野々市中央公園の拡張整備(2029年着工予定)を市民のまちづくりへの参画意識向上の機会として捉え、市民が主体的に参加することができる環境を整備する。

デジタルツールの活用による

データとまちづくりデザインを通じた
市民との目的共有・見直しの仕組みの構築

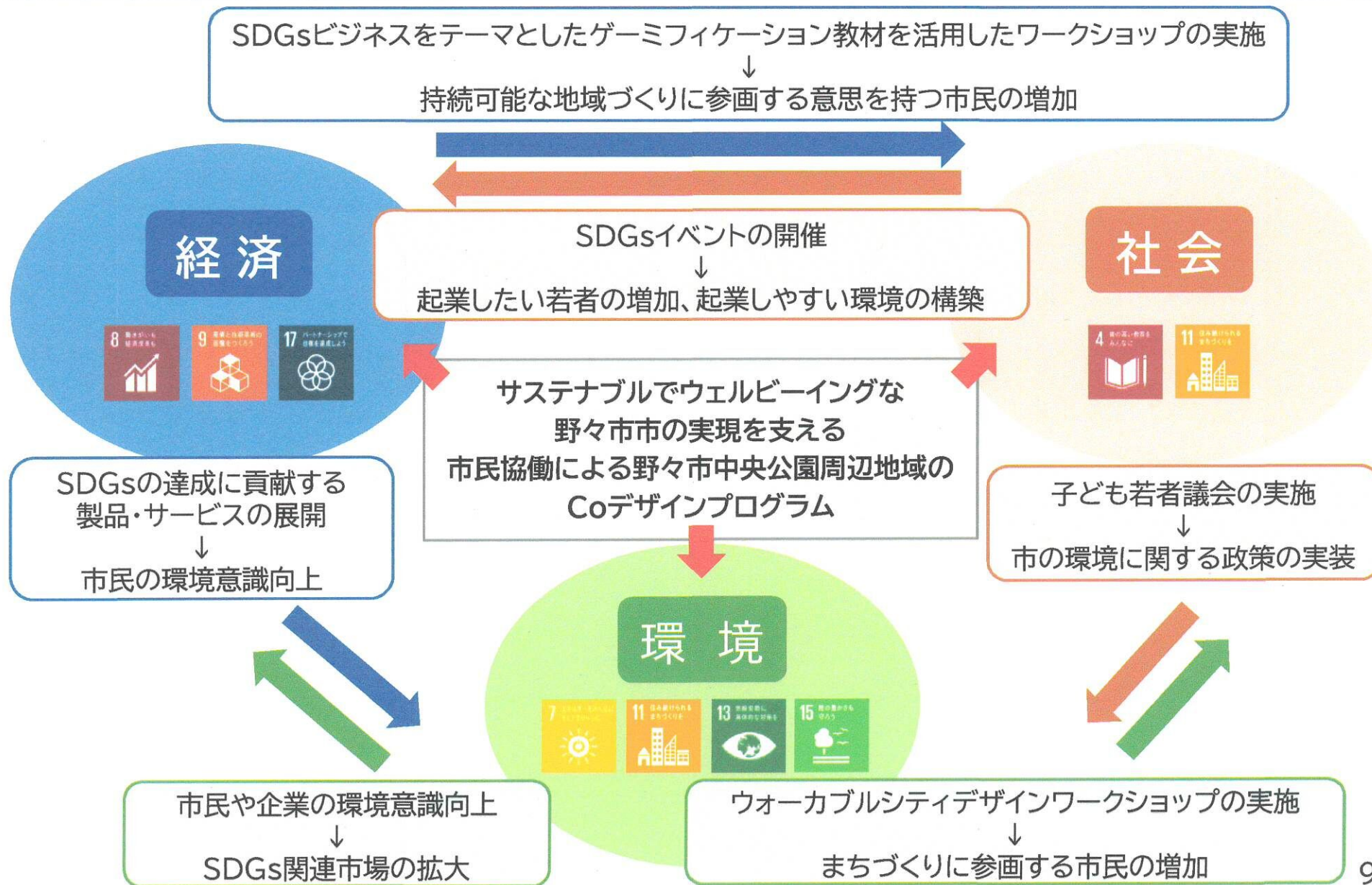
市の強みと弱みを共有

2030年のあるべき姿に向けた
達成度合いのモニタリング

野々市中央公園周辺の
まちづくりデザインについて
市の提案を市民全体へ共有

市民が提案に対して
意見を述べる

統合的取組によって生じる相乗効果





自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

「野々市市SDGs推進協議会」の設置

自治体SDGsモデル事業の運営主体として、「野々市市SDGs推進協議会」を設置する。積極的に市のSDGs未来都市の取り組みを推進する 企業・団体・個人 が会員として参画し、市と市民が連携して運営を行う。

